

2025ジェンダー平等推進トツプリーダー宣言

アンコンシャス・バイアスを解消し、男女平等参画社会を実現しよう！



連合福島 会長 澤田 精一

「福島の復興・創生に全力を尽くす」ことをスローガンに掲げ、運動を進めていますが、女性の労働人口の減少が大きな課題であり、コロナ禍のメンタル調査で女性の家事・育児等と仕事の両立の課題が明らかになりました。連合福島は、「女性活躍・ジェンダー平等・多様性推進委員会」を設置し、女性視点での課題解決、男性の意識改革と環境整備を進め、男女平等参画、ジェンダー平等の推進、ワーク・ライフ・バランス等の推進に取り組めます。



自治労福島県本部 中央執行委員長 澤村 英行

「労働組合のジェンダー平等参画」「職場のジェンダー平等の実現」「ジェンダー平等の法制度・社会環境の整備」を3本の柱に、多様性を認め合うジェンダー平等社会の実現にむけ取り組めます。



UA ゼンセン福島県支部 支部長 井上 正克

私たちの組織は6割以上が女性でありパート労働者で構成されています。積極的に「ジェンダー平等」や「アンコンシャス・バイアス」についての学習機会を増やし、幅広く啓蒙活動をすることで「性による差別的扱い」を無くし「女性活躍」を推進していきます。



自動車総連福島地方協議会 議長 岩城 裕貴

私は、性別に関わらず平等な権利と機会を尊重し、多様な意見や価値観を受け入れる社会を築くことを宣言します。男女問わず積極的に参画し、差別や偏見を排除し、誰もが安心して自己実現できる環境を目指します。



電機連合福島地方協議会 議長 鈴木 重一

「ジェンダー平等」を私たち労働組合から強く発信することは、社会や企業への呼びかけになります。より多くの方に組合活動に参画いただき、多様な経験や価値観を共有し、個人の能力や個性が活かされる社会を目指して行きます。



JAM 南東北福島県連絡会 会長 高原 英二

中小製造業中心の労働組合 JAMとして、働くすべての人が性別に関係なく、平等な機会を享受できる環境づくりを積極的にすすめ、職場における男女の役割を見直し、多様性を尊重する意識を育みフレキシブルな働き方を推進します。



福島県電力総連 会長 大槻 光政

労働組合の男女共同参画の取り組みは遅れを取っている。まずは、女性が組合活動に参画しやすい環境や仕組みを構築することが重要だ。女性の力は職場を大きく変えられる。さあ、目指そう！男女で力を合わせ明るい職場の未来に向かって！



JEC 連合福島地方連絡会 議長 吉田 裕一

製造業をはじめとする化学業界に結集する JEC 連合では、他産別に比べ女性従業員が少なく、ジェンダー平等の取り組み難しい現状があります。しかしながら、女性の声に耳を傾け、その意見を制度や働き方の見直しに反映させることは重要であり、組織全体の活性化にもつながります。私たちは、誰もが安心して働き、力を発揮できる環境づくりを目指し、ジェンダー平等の実現に向けて一歩ずつ着実に取り組みを進めてまいります。



JP 労組東北地本福島連絡協議会 議長 鈴木 貴也

JP 労組福島連協は、「組合活動における男女平等参画の推進」、「多くの仲間の結集と組織活動の活性化」を運動目標とし、各支部において取り組みを進めていきます。機関会議等への女性参画率向上をめざし、今後新たな方針を策定し運動の実現と、数値目標達成をめざし、組織一丸となって取り組んでいきます。



日本ゴム産業労働組合連合福島県協議会 議長 五十嵐 天元

すべての人々が明るく豊かに暮らせる社会を実現するために、ジェンダーによる差別や偏見、不平等のない多様性を尊重し合える職場環境づくりを推進していきます！



基幹労連福島県本部 委員長 遠藤 洋

生産年齢人口の減少や組合員の職業観・私生活観の変化等を背景に、性別に関係なく誰もがその個性と能力を発揮し、役割と責任を果たすことで、職場・家庭・地域において生き生きと生活できる社会づくりをめざす！



私鉄総連福島県協議会 議長 紺野 淳

いまだに多くの職場で、女性は補助的な仕事、管理職は男性が多いなど現状が残っています。労働組合は、こうした不平等に対して声を上げ、制度を変えていく活動をしていかなければなりません。今後も組合として制度改善の取り組みを強化するとともに、働きやすい職場環境づくりにも取り組んでまいります。



運輸労連福島県連合会 執行委員長 國分 和徳

運輸産業は、まだまだ男性が多い業界ではありますが、近年では徐々に女性の比率も増加しています。女性をはじめ多様な仲間が安心して働ける職場環境を目指すとともに、産別組織としてジェンダー平等社会の実現に取り組めます。



交通労連福島県支部 委員長 遠藤 章

交通運輸産業である交通労連。バス、トラック、タクシー、整備士、自動車学校の職員は、まだまだ、男性の職場というイメージが強い。女性が安心して働ける職場環境や就労時間を改善し、現在不足している乗務員、整備士を受け入れることで、今以上の明るい職場にしたい。



紙パ連合福島県連絡協議会 事務局長 片寄 弘幸

誰もが自分らしく働ける職場を目指して、平日頃より職場の皆さんからの想いや声などに耳を傾けると共に、性別に関わらず互いを認め合い、力が発揮できる職場作りへ仲間と共に一歩ずつ取り組んでいきます。



全国ガス 福島ガス労働組合 副委員長 佐藤 拓

全国ガス版「ジェンダー平等推進2024-2026」に基づき、実現の枠組の中にある男女共同参画の意識・必要性の理解浸透をはじめ、多様な人材による組織の活性化を図り、誰もが安心して働き続けられる職場環境づくりを目指します。



県北地域連合 議長 菅井 謙一

私たちは、すべての人が性別に関わらず平等な機会を持てる環境を整備します。全組合員が多様性を尊重し、仕事と生活の調和を図れるよう理解するための教育と柔軟な働き方を推進します。多様なバックグラウンドを持つ人材がリーダーシップを発揮できるよう、意識的に採用・育成を行います。地域社会や他の組織と連携し、持続可能なジェンダー平等の社会を実現するために全力を尽くします。



県中地域連合 議長 横倉 洋介

県中地域連合の各地区連合役員には女性の参画も徐々に増えつつあります。引き続き労働組合における男女平等参画を進め、一人ひとりの意識や行動を変え、男女があらゆる場に平等に参画することで、ともに働く喜びを実感できるよう執行機関への女性の参画、積極的な登用に努めてまいります。



県南地域連合 議長 藤田 隆司

県南地域連合では、男女平等を実現するためには、一人ひとりの意識改革や認識が大変重要かと感じています。公正で持続可能な社会づくり、ジェンダー平等の実現は険しい道のりではありますが、加盟組合員の多様な声を聴き、各種活動・取り組みに反映させ、男女が平等に働くことができる職場環境・社会環境づくりに、引き続き取り組んでまいります。



会津若松地区連合会 議長 寺岡 毅

会津若松地区連合会は、すべての人が性別に関係なく平等に尊重され、活躍できる社会の実現を目指します。固定観念や差別をなくし、多様性を認め合う環境づくりに取り組み、ジェンダー平等の推進に努めます。



南会津地区連合会 議長 佐藤 寛喜

南会津地区連合会は、性別にとらわれず誰もが平等に尊重される社会を目指します。すべての人の個性と能力が発揮できるよう、ジェンダー平等の実現に向けて行動していきます。



いわき地区連合会 議長 高橋 直人

ジェンダー平等は労働運動における重要課題であり、日本では賃金格差や女性の非正規雇用、管理職の少なさ、ハラスメントなどが問題となっています。北欧ではクオータ制や賃金透明化が進み、女性の地位向上が実現しています。いわき地区連合会は、育休制度の充実や女性リーダー育成に取り組み、多様な声を反映し、誰もが働きやすい職場づくりを目指します。



相双地域連合 議長 野本 侑希

ジェンダー平等の達成には、差別的な認識や偏見をなくしていくことが重要だと思います。そのうえで、相双地域連合は組合員の皆さまの多様な声を取り組みに反映し、誰もが安心して職場や地域で活躍できる持続可能なジェンダー平等の社会の実現を目指します。